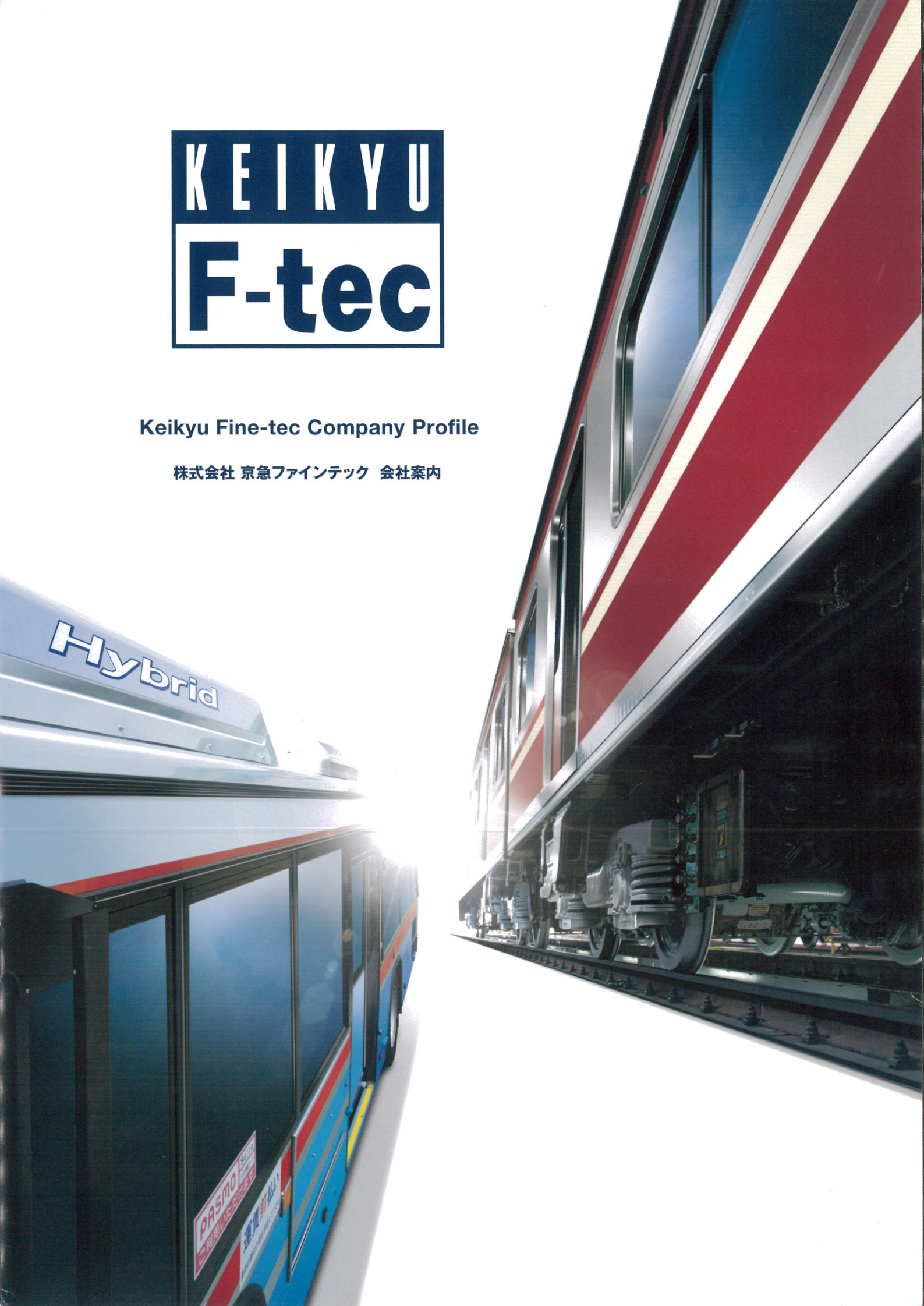


KEIKYU F-tec

Keikyu Fine-tec Company Profile

株式会社 京急ファインテック 会社案内



Tokyo



■東京営業所（営業部）

〒108-0074 東京都港区高輪2丁目21番28号 京急第3ビル 5F
TEL.03-3444-8761 FAX.03-3444-1328

Kanazawa



■金沢事業所（総務・経理・交通技術・企画開発部）

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2丁目1番1号
TEL.045-781-1663 FAX.045-701-3881

Kurihama



■久里浜事業所（鉄道車両部）

〒239-0805 神奈川県横浜須賀野市舟倉2丁目4番1号
TEL.046-835-1820 FAX.046-836-0370

■久里浜資材センター（久里浜事業所内）

TEL.046-835-1776 FAX.046-833-1897

磨き抜かれた技術と情熱が

揺るぎない信頼をつくりだす。

お客さまを運ぶ車両の証ともいえる

「安全」のために。磨き抜かれた専門の技術と、

徹底して妥協を許さない情熱こそが、

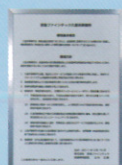
株式会社京急ファインテックへの

揺るぎない信頼をつくりだしています。

地球環境を守り続けるための努力を。

私たちは事業活動を展開するにあたり、地球環境への負荷を低減するという目的に向かって独自の環境マネジメントシステムを継続的に改善しています。

現場における一つひとつの作業まできめ細かな環境保全への取り組みが浸透。特に久里浜事業所では「ISO14001」を取得し、その姿勢をより強化しています。



■トラバーサ

工場全体の作業スケジュールに合わせ、車体ごと工場間や作業場間を移動させる「トラバーサ」。綿密に組まれた工程を円滑に運ぶための重要な役割を果たす。

Keikyū Fine tec

久里浜事業所

ひたすら、
安全へ。

すべての作業は、「安全」を

完全にするための精神で貫かれています。

鉄道車両の安全運行を守る検査と

工事を中心に、膨大で綿密な

工程に沿って、高度な専門技術を

ひたすら精魂込めて注ぎ込んでいます。



Fine tec

Technique

Technology

Ecology

Safety

「Fine tec＝素晴らしい技術」の真髄。

久里浜事業所の歴史は、京浜急行電鉄の鉄道車両の定期検査と更新改造工事を中心に高い評価の歴史を積み重ねてきました。

緻密に張り巡らされた「安全」のためのシステムを支える原動力こそ、私たちが誇る3つの技術です。電車の構造を隅々まで知り尽くしたテクニック【技】と先端機器が可能にするテクノロジー【科学技術】、そして地球環境を守るエコロジー。それこそが、「Fine tec＝素晴らしい技術」を成り立たせているのです。

1mmを、
支配する技。

車体を台車と結合させる作業では、前後左右に1mmの誤差も許されない。その差を肌で感じ、互いに声で呼吸を合わせる究極の調整力で、1mmを支配し続ける。

見果てぬ世界へ、
挑む眼差。

部品という最終単位まで露わにし、一つひとつの緩みや傷を丹念に見発していく作業は、手の届かぬ世界へ突き進む感覚に近い。

Keikyu Fine tec
久里浜事業所

人-技-C

Network - Tec - Check

「安全」のために築かれた緻密な作業システムには、安全を保証する

厳格なチェック工程が敷かれています。人を中心に、久里浜事業所のもつ「Fine tec=素晴らしい技術」の

数々が、数ある工程のすべてにネットワークのように巡らされています。

生物のように動く
アームの手技。

台車塗装の工程では、科学技術が生んだアームが縦横無尽に活躍する。型式に即し速度や角度を変え、全自動で仕上げていく。

安全を守り抜く、
最終関門。

数々のチェックを受けてきた車体に、改めて二重、三重の検査が加わる。テクノロジーによる検査を補完するように、最終段階の関門にも人の五感が力を発揮する。

叡智を伝える
言葉。

作業を説き、試みさせ、教え、さらに試みさせて身体に刻んでいく、技術の伝承。刻まれた感覚は、やがて財産となり叡智に変わる。

見えぬ傷を、
見抜く眼。

分解しないと見られないベアリングの傷を、オシロスコープの波形で確かめる。最後は人が聴診器を当て、音の異常で傷を察知する。

1 車体下り作業 2 マスターコントローラー点検 3 集電装置(パンタグラフ)点検 4 台車塗装装置
5 空圧試験装置 6 駆動装置回転試験 7 ビット車点検

Keikyu Fine tec

金 沢 事 業 所

可能性に 挑む、発想。

大型自動車の車検・整備や車両の

改造・再生に、そして鉄道分野を

主とする様々な製品開発に。

金沢事業所は、一般では不可能な領域に

さえ可能性を見出すプロフェッショナル

としての技術と発想力を誇りに、

新たな挑戦を繰り返しています。



バスや大型トラック・乗用車の整備・修理、さらにバスの車体改造からロープウェイ車体製造まで、人の手による技術が光ります。

交通技術部（製造・整備）

バスの改造から大型自動車の整備まで極め続ける。

車体の内外装のすみずみまで、お客さまの思うままにバスを造り変えること。大型自動車の車検・整備はもちろん、このバスの車両改造・再生という特殊な技術分野にこそ、「Fine tec=素晴らしい技術」の神髄があります。

約半世紀にわたってお客さまのニーズにお応えしてきた歴史のなかで、シートや床の張替えから電気系統の更新、運賃支払いシステムの交換、塗装による車体デザインに至るまで、あらゆるご要望を可能にする技術を蓄積してきました。

一つの部品、一枚のドアから新たに造り直す鈑金技術への自負を原動力に、まさにバスのオーダーメイドとも言えるきめ細かく高精度のサービスと、納期へのスピーディーな対応がお客さまの信頼を高めてきました。

こうした交通技術部の特殊な技術資産は、キャリアの差を超えたスタッフ間の円滑な連携のもと、次世代へと引き継がれています。常に不可能に挑むために、最先端の技術と発想力を身に付けながら、さらなる成長を続けています。

交通技術部（鉄道サイン）

多岐にわたるご相談に柔軟に対応。

交通の世界を知り尽くしたうえで、常に新たな現場ニーズに応え続けています。大型のサインをはじめ乗客の方々の利便性を高める各種製品づくりから、駅構内や事務室の備品の製造、そして取り付けまで、お客さまのあらゆるご相談に対応。未開拓の領域にも果敢に挑みながら、今後も豊かな発想力を駆使したご提案を繰り返し、高品質の開発へと結びつけていきます。



データ出力



自立型看板



ラッピングバス



ステンレス製ベンチ



フロアシート



携帯型スロープ板「カループ」

駅構内の各種サインをはじめ、停車位置目標シートやベンチなどあらゆるオーダーに対応します。

会 社
概 要

社 名：株式会社京急ファインテック (keikyu fine-tec co., Ltd.)
創 立：昭和23年10月2日
資 本 金：4,300万円
従 業 員：284名 (2012.3.1 現在)
株 主：京浜急行電鉄株式会社
本 社：東京営業所
〒108-0074 東京都港区高輪2丁目21番28号 京急第3ビル5F
TEL.03-3444-8761 FAX.03-3444-1328
www.keikyu-ftec.co.jp/

■株式会社 京急ファインテックの沿革

1948 京浜急行電鉄株式会社より分離独立し、京浜自動車工業株式会社として
昭和23年 創立(資本金:300千円) ■本社：東京都港区芝高輪南町17番地

1962 東京営業所開設
昭和37年 京浜急行電鉄株式会社と電車、車両の部品ならびに修理、改造の請負契約をする

1963 車両部新設
昭和38年 中古車両整備販売開始

1967 京浜自動車工業株式会社と京急整備株式会社と合併し、商号を京急自動車
昭和42年 工業株式会社とする(新資本金:43,000千円)

1968 金沢工場が東京陸運局指定工場に認可
昭和43年

1978 京急車輛工業株式会社に社名変更
昭和53年 社章制定

1985 金沢工場に塗装乾燥ブースが完成
昭和60年

1988 創立40周年を迎える
昭和63年

1990 金沢工場に新塗装工場が完成
平成2年

1993 金沢工場に縫製工場が完成
平成5年

1994 テクニカルショーヨコハマ'94に
平成6年 マニュアルゲートを出展

1995 金沢工場に大型整備工場が完成
平成7年

1998 創立50周年を迎える
平成10年

2001 株式会社京急ファインテックに社名変更
平成13年 金沢工場を金沢事業所に、久里浜工場を久里浜事業所に変更
京浜急行電鉄株式会社と鉄道車両の保守業務委託契約をする
久里浜事業所 ISO14001認証取得

2002 車椅子乗降装置(ラクーブ)、バリアフリー化推進功労者表彰の内閣官房
平成14年 長官賞を受賞。

2006 金沢事業所資材倉庫建て替え
平成18年

2007 久里浜事業所に研修センターを開設
平成19年

2008 創立60周年を迎える
平成20年

2009 金沢事業所受電設備更新
平成21年

2010 金沢事業所に簡易型塗装集塵ブース設置
平成22年 久里浜事業所 車輪旋盤更新

2011 金沢事業所新社屋完成
平成23年 第2回鉄道技術展にカループ(携帯型スロープ板)を出展

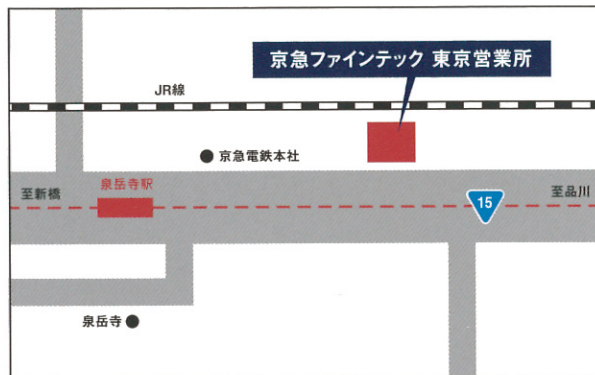


昭和38年に操業開始した久里浜工場



昭和60年に完成した金沢工場の塗装乾燥ブース

京急ファインテック 東京営業所



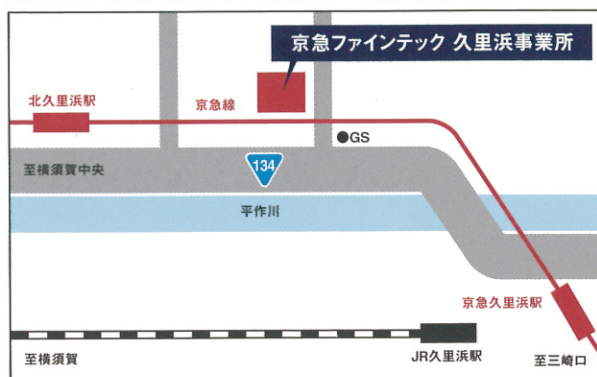
〒108-0074 東京都港区高輪2丁目21番28号 京急第3ビル5F TEL.03-3444-8761 FAX.03-3444-1328

京急ファインテック 金沢事業所



〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2丁目1番1号 TEL.045-781-1663 FAX.045-701-3881

京急ファインテック 久里浜事業所



〒239-0805 神奈川県横須賀市舟倉2丁目4番1号 TEL.046-835-1820 FAX.046-836-0370